

○臨時国会終わる

特定秘密保護法が消化不良のまま自民党の強行採決で国会が終わりました。テレビの画面で、芝参議院議員の迫力満点の活躍を見た方も多いと思います。今回可決された法案には、秘密保護法制を採用している諸外国の法制度と比較しても、多くの問題点がありました。具体的には、秘密の範囲が際限なく広がる可能性があること、第三者機関が法律によって内閣の外にできる機関でないだけに十分なチェックができないこと、国会については、国会法の改正で、国会自らが法整備をすることが必要なことなどが、課題として残りました。民主党としても、国際的な通念に従った対案を提出して改善を求めてきましたが、今後も引き続き戦い続けて、法案の改正を求めていきます。

そんな中ではありますが、私の温めてきた法案が無事通過をしました。

アルコール健康障害対策基本法は、参議院の混乱にも関わらず、全会一致で無事可決され、法律が成立しました。今後、内閣府の中に、医療専門家や関係者の皆さんによる会議が設置され、具体的な実行計画を2年以内に作っていくこととなります。これによって、自殺や家庭内暴力、引きこもりなどの問題を誘発するアルコール依存症を少しでもなくし、社会問題を克服していこうということです。

私たちが、ハードな公共事業に偏りすぎていると批判した与党の国土強靱化法は、発災時の緊急対策で命を守る施策を中心にしようということや、ハード対策に客観性と透明性を持った議論で優先順位をつけて、借金がむやみに発散することに歯止めをかけることなどの修正をしました。法律の名前も「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災に資する国土強靱化法」と修正され成立しました。あわせて、消防団の活動を支援する法律も成立して、防災対策が具体的に前に歩みだしています。

この国会で、私たちが政権与党時代に準備を始めて自民党政権になってから提出された法案の多くが大体成立しました。安倍政権の強権政治、右傾化誘導がはっきりしてきた中で、来年の通常国会からは、本来の野党らしいチェック機能を果たすことのできる民主党を目指します。

○水素で三重の未来を描く

東京モーターショーに行きました。ハイブリッド、電気自動車に並んで、燃料電池車が注目されています。ホンダの会長から、四日市コンビナートで行われている水素の生産を活かした水素スタンドなどの汎用化モデルを、三重県の北勢地域から推進できるのではないかと、期待を込めての話が出ました。家庭用の発電もふくめた将来構想を練ることも、時代を取り込むチャンスです。

○新鮮な留学生たち

久しぶりに、大学の学生たちと話をする機会を得ました。早稲田大学のジャーナリズムを専攻するゼミで、模擬インタビューを受ける想定で、授業に参加しました。日経新聞の現役の部長さんが先生ですから、授業はかなり厳しく、実践的に進められているのが分かりました。12人の出席者のうち、日本の学生は2人しかおらず、中国、香港、台湾などからの留学生の目の輝きがとても印象に残りました。特に中国の学生たちが、日本の政治家に会って直接話げできたことに、とても感動している様子でした。

政府間の交流が難しい時だからこそ国民の直接交流が大事だというのは、ヨーロッパではドイツとフランスの関係克服の教訓にあります。留学生の受け入れを大きく増やし、同時に日本からも若者が海外に出ていくことが、日常的になる環境を作ることです。

○身近な課題、防犯ボックス

鈴鹿の市議会の皆さんから、防犯ボックスの設置を国で制度化してはどうかという提案がありました。以前に、地域で防犯パトロールをする時、車に青色回転灯をつけると怪しい人が逃げる効果があると、四日市から提案があり、防犯に青色回転灯が使えることになって全国に広まりました。こうした防犯運動の地域拠点の設置と、そこに警察のOBが制服を着て詰めることで、合併や合理化が進む警察の派出所代わりにもなるのではないかと提案です。千葉県でそのモデル的な事業が始まっているようで、地域で取り組む事業としては、とてもいい提案だと思っています。国として事業をバックアップできる仕組みづくりに取り組んでいきたいと思っています。